

# 滋賀県衛生科学センターだより

No. 33

2025 年 12 月

編集発行 滋賀県衛生科学センター

〒520-0834 大津市御殿浜 13-45

Tel 077-537-3050 Fax 077-537-5548

e-mail: [eh45@pref.shiga.lg.jp](mailto:eh45@pref.shiga.lg.jp)

HP: <https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/>

## 「夏休み親子教室」を開催しました

当所では、子どものころから衛生や科学などに対する理解と関心を深めることを目的として、県内在住の小学生とその保護者を対象に「夏休み親子教室」を開催しています。この教室は年1回開催しており、今回で2回目です。今年度は8月7日に開催し、3組8名の親子に参加していただきました。

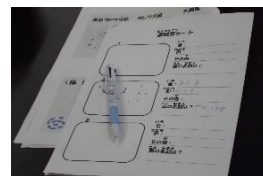
### 衛生科学センターってどんなところ？



衛生科学センターの所長が講師となり、地方衛生研究所の役割や当所の各係で担当している業務についてお話がありました。

### 〈体験〉 ばい菌を見てみよう

食中毒の原因となる3種類のばい菌を顕微鏡で観察し、色（赤色・青色）や形（球状・桿状）をスケッチしました。スケッチしたばい菌の色や形が、どのばい菌（黄色ブドウ球菌・セレウス菌、大腸菌）の特徴と一致するか調べました。



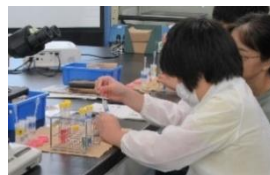
### 感染症ミステリー ～胃腸炎集団感染の謎を探れ～

とあるホテルで集団発生した感染症胃腸炎。その原因はホテルで食べた〇〇だった？探偵ムラーイと助手イノウエ（猫）と一緒に感染症の原因を推理し、感染症がどのように広がっていくのかを学びました。



### 〈体験〉 液体の pH 実験

ブルーベリーやバタフライピーから抽出した水には、天然の色素であるアントシアニンが含まれています。この水に、酢（酸性）、水（中性）、こんにゃく水（アルカリ性）を入れてどのように色がかわるか実験しました。



参加者からは「学校の100倍楽しかったです」、「体験・実験はとてまたのしく大人も「ほおー!!」となる内容でした」など大変うれしいご感想をいただき、親子で楽しめる内容になっていたのではないかと思います。来年度も引き続き開催予定です。毎年7月ごろから当所のホームページで開催案内を掲載していますので、ぜひご参加ください！

# わた SHIGA 輝く国スポ・障スポにおいて 感染症強化サーベイランスを実施しました！

当所では、県内の感染症の発症状況を日々確認し、変わった感染症が発生していないか、また集団発生が起きていないかなどチェックし、週報や月報として県のホームページ上で公表したり、メールやLINE等で配信したりしています。こうした取り組みのことを「感染症サーベイランス」といいます。

滋賀県では、今年9月28日から10月27日の日程で「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」が開催され、大きな賑わいを見せました。この大会では、全国から選手やスタッフ、ボランティアや報道関係者などが一堂に会することから、全国から県内に感染症が持ち込まれる可能性があることや、またひとたび感染症が発生すると広範囲の都道府県に感染が広がる可能性があることなどから、感染症の早期探知・早期対応が必要となります。

そこで、大会期間中やその前後では、感染症の早期探知・早期対応をはじめ、安心・安全な大会運営に寄与することを目的として、普段から実施している感染症サーベイランスに加え、薬局や学校、メディア等の情報も含めて感染症に関連する情報を収集・評価し、日報として大会関係者に還元する「感染症強化サーベイランス」を実施しました。

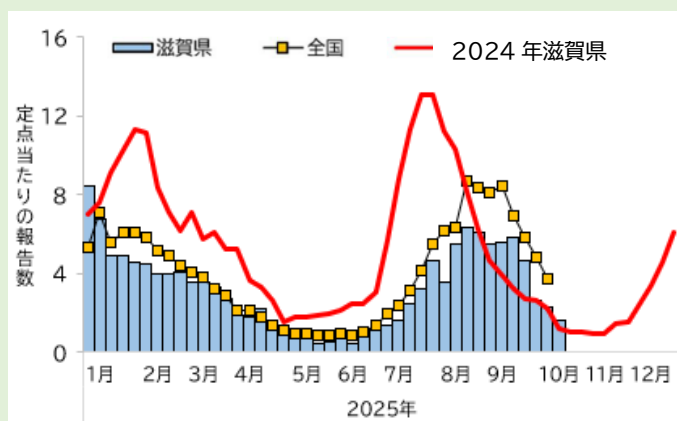
## 具体的に、どんな情報をチェックしているの？

### 感染症発生動向調査事業の情報

普段から、感染症法という法律に則って医師や医療機関から届出される感染症の情報を収集しており（感染症発生動向調査事業）、全国と比べて、また過去の滋賀県の発生状況等と比べて異常がないか、確認しています。

また、感染症強化サーベイランスにおいては、届出が必要な疾患のうち、腸管出血性大腸菌感染症や侵襲性髄膜炎菌感染症、麻しん、風しんについては、感染拡大した場合の大会への影響や重症度等から、特に注意を要する疾患として1例でも届出があれば大会への関連の有無と併せて大会関係者に情報提供しました。

滋賀県感染症発生動向週報（IDWR）令和7年第42週から一部抜粋  
（新型コロナウイルス感染症の発生動向）

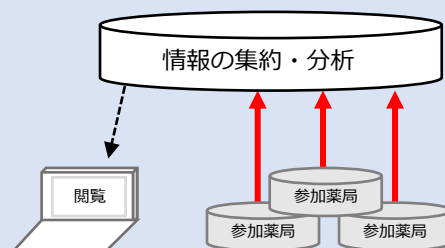


参考：<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/info/307997.html>

## 薬局サーベイランス情報

薬局が報告する解熱鎮痛薬など調剤情報から感染症の流行状況（インフルエンザの患者数等）を推計する薬局サーベイランスシステム（右図）を活用して、県内の保健所圏域別にアラート（感染症の流行を示唆する情報）がないか確認しました。

薬局サーベイランスにおける情報収集および閲覧の仕組み



参考： <http://prescription.orca.med.or.jp/syndromic/yakkyoku/>

## 学校等欠席者サーベイランス情報

県内の学校や保育園から、園児や児童、生徒の出席停止、欠席、臨時休業の情報を収集・集計するシステム（学校等欠席者・感染症情報システム）を活用し、県内の市町別にインフルエンザ、感染性胃腸炎、新型コロナウイルス感染症による出席停止や欠席等の報告がないか確認しました。

学校等欠席者・感染症情報システムの市町別情報

市町村	欠席者の現状（％）										出席停止・休学生徒数（人）									
	全学年	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	全学年	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高	小・中・高
山梨県																				
山梨県																				
山梨県																				
山梨県																				
山梨県																				
山梨県																				

参考： [https://www.gakkohoken.jp/files/ccenter/202012\\_about\\_system.pdf](https://www.gakkohoken.jp/files/ccenter/202012_about_system.pdf)

## メディア情報

日々、県内の感染症に関する情報や、大会に関連する感染症の情報がないか等、様々なマスメディアを活用して情報収集しました。

また、インフルエンザの流行期入りなど、特に大会関係者に知っていただきたい情報があれば、関係者間で情報共有しました。

日々、こうした情報をひとつひとつ収集・分析し、大会に関連して特に対応が必要な内容がないかなど、総合的に評価を実施し、その結果、9月22日（国スポ開会式1週間前）から11月10日（障スポ閉会式後2週間）までに計38回、大会関係者に対して情報提供を行いました。また、この間に、腸管出血性大腸菌感染症の報告が4件ありましたが、いずれも大会との関連は確認されませんでした。さらに、薬局や学校のサーベイランス情報、メディア情報を踏まえても、この間を通じて特に対応が必要な内容は確認されませんでした。

こうした取り組みは、感染症の異常な発生があったときは、それを早く見つけて、早く対応につなげるという意義がありますが、特に異常が確認されなかったとしても、大会関係者に対して、感染症に関する異常な事態は起きていないということをお知らせし、安心・安全な大会に寄与することができたと考えられます。

このため、今回の取り組みの経験を活かし、今後も県内で大規模なイベント等が実施される際は、必要に応じて感染症強化サーベイランスを実施し、安心・安全なイベント運営に寄与してまいります。